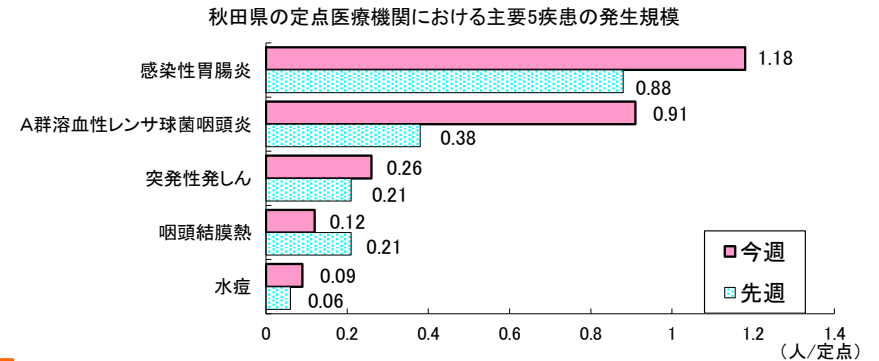




【第4週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、由利本荘で増加、北秋田、大仙、横手、湯沢で同規模、能代、秋田中央で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で増加しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、能代、由利本荘、横手で増加、秋田市、大館、湯沢で同規模、大仙で減少しています。



発生報告

次回(第5週)の週報は、2021年2月12(金)に公表します。

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.21	0.12	↘		0.33	↗	0.25		↘									0.50	0.25	↘					1.00	0.25	↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	0.91	↗	1.00	2.17	↗	0.75	1.25	↗						1.00	1.25	↗		0.25	↗			1.50	↗			0.25	↗		
感染性胃腸炎	0.88	1.18	↗	1.17	2.17	↗	0.25	1.25	↗	1.00	1.00		1.67	1.33	↘	1.75	1.25	↘		0.75	↗	0.50	0.50		1.00	1.00		0.75	0.75	
水痘	0.06	0.09	↗		0.17	↗		0.25	↗									0.50	0.25	↘										
手足口病	0.09		↘							0.50		↘						0.50		↘										
伝染性紅斑	0.03	0.03													0.25	0.25														
突発性発しん	0.21	0.26	↗	0.50	0.50		0.50	0.50						0.33	↗				0.25	↗	0.25		↘		0.33	↗	0.25	0.25		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*		*	*	
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*		*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が横手保健所管内から1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から7人、大館保健所管内から1人、横手保健所管内から3人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-3週		4週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	621	3	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	1		
	腸管出血性大腸菌感染症	55		
	腸チフス			
四類	E型肝炎	39		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	4		
	エキノコックス症	2		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群			
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-3週		4週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	44		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	1		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	3		
野兔病				
ライム病				
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	59	1		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	28		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	5		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	64	1	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1		
	急性脳炎	17		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	9		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	44		1
	後天性免疫不全症候群	40		
	ジアルジア症	4		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15		
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	62	1	
	水痘(入院例に限る)	9		
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	260	3	1
	播種性クリプトコックス症	7		
破傷風	4			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			
百日咳	26	2		
風しん	1			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
指定	新型コロナウイルス感染症	101	11	

トピック

<伝染性紅斑(リンゴ病)について>

伝染性紅斑は、両ほほに特徴的な真っ赤な紅斑が出現することから“リンゴ(ほっぺ)病”とも呼ばれ、幼児や小児を中心に発生します。県内では2015年から2016年にかけて、2018年~2019年にかけて患者数の増加が認められました(図)。数年おきに流行をくり返す傾向があることから、今後の発生状況に注意しましょう。

■症状

原因となるヒトパルボウイルスB19に感染すると、初めに微熱や咳といったかぜ様の症状がみられ、その7~10日後に、両ほほに辺縁鮮明な紅斑が現れて、次いで手足や体幹部にレース状の発疹が広がります。通常、これらの発疹は1週間程度で消失します。成人では関節炎症状のため、1~2日間ほど歩行が困難となる場合もあります。多くは合併症を起こすことも無く自然に回復しますが、妊婦では胎児水腫や流産の原因となることもありますので注意が必要です。

発疹が出る前のかぜ様症状の時期が最もウイルスの排出が多く、感染力があります。そして、発疹が現れるころになると感染力はほぼ無くなっています。

■感染経路・予防

主な感染経路は、**飛沫感染**(ウイルスを含んだ患者の咳やくしゃみを吸い込む)と**接触感染**(咳などのしぶきが付着したものに触れた手を介して、口や鼻からウイルスを取り込む)です。感染予防には手洗い等の対策を日常的に徹底することが重要です。

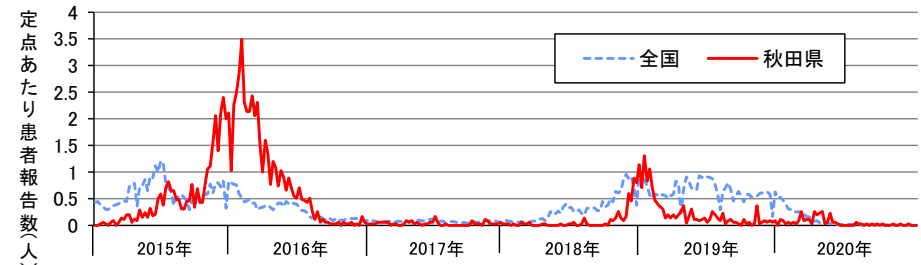


図 全国と秋田県における伝染性紅斑の定点あたり報告数の推移

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
			利用者(園児、入所者等)	職員	計			
由利本荘市	本荘保育園	1/26	146名のうち11名	33名のうち0名	11名	1/19 ~ 1/26	嘔吐、下痢発熱	ノロウイルス検出



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		